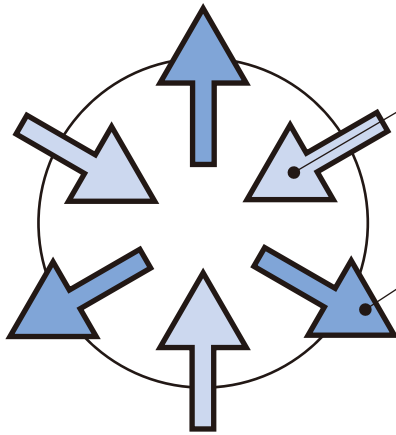


戦略C 広げる - 展開力 - [戦略別広報] 新しい広報

戦略イメージ図



方策C-①
新しい時代のニーズを取り込む
内向き矢印：社会のニーズをとらえる

方策C-②
イノベーションを起こす
外向き矢印：新しいチャレンジ

方策C-① 新しい時代の環境に取り組む

方策のキーワード

デジタル技術の進展と社会の変化にアンテナを立てる

他団体と積極的に連携し情報とニーズをとらえる

ホールに必要なコンテンツを探りマッチングさせる

チャレンジを応援できるしくみをつくる

既存の事業に新しいモノ・コトを取り入れる工夫をする

活動計画

アピオス

学校・大学と戦略的に連携する

若い世代の参加・参画数を増やすために、学校・大学と戦略的に連携し、学生が参加・参画しやすい環境づくりを行います。

事例紹介 小美玉さくらフェスティバル

小美玉市商工会とさくらフェスみの〜れ実行委員会が合同で開催する、春の一大イベント「小美玉さくらフェスティバル」。若い世代がみの〜れに多く集まり、森のホール、風のホール、光のホワイエ、風の広場、野外と部門に分かれて1日限りの「大人の学園祭」を創出します。制作期間は約半年、実行委員会でテーマを決め、各部門でアイデアを出し合い企画を創り上げていきます。実行委員長をはじめ、毎年新しい人材がやって来ては入れ替わるのがさくらフェスの大きな特徴。若い世代がアイデアと行動力で活躍するイベントです。



写真：
小美玉さくらフェスティバル
2019

活動計画

みの〜れ

住民自ら企画を持ち込みチャレンジできる プレゼンテーション企画事業の展開

若い世代をはじめとする住民が自ら企画を持ち込みプレゼンできる体制をつくります。そしてチェック・応援・協力体制のもとで、期間を設けて自分のやりたいこと・チャレンジできる仕組みをつくります。

活動計画

コスモス

誰もがチャレンジできる企画事業の開催

新しい取り組みに対する予算を設け、新しいチャレンジ企画を開催します。あわせて定期的に企画をチェックし見直すことで、人や事業が循環する環境をつくります。

2. 戦略／方策／活動計画

事例紹介 アピオスeスポーツイベント

スポーツ＝運動・体育のイメージが強い日本ではまだなじみが薄い「eスポーツ」。2019年秋の茨城国体では、文化プログラムとして全国初といわれる都道府県対抗イベントが開催されました。このeスポーツを「アピオスのホールでできないか？」と、使用タイトルや舞台演出・会場運営を、実行委員会で一から考え開催したのがアピオスeスポーツイベントです。時代の最先端を視野に、世代や男女の差を超えて楽しめるイベントをつくることで、①地域住民のeスポーツの認知度向上、②eスポーツを核とする小美玉市のまちづくり、③アピオス・小美玉の全国的なPR、を目標にしています。



写真：
全国都道府県対抗eスポーツ
選手権 2019 IBARAKI 予選会

方策C-② イノベーションを起こす

方策のキーワード

社会のニーズに基づく新しい文化活動にチャレンジする

専門知識や先進事例を学び応用する

企画の推進役となるリーダー・グループをつくる

ホールにとらわれない新しい企画を展開する

活動計画

アピオス

専門分野を学ぶ「アピオスクール」の開校

少人数でも意欲の高い人を対象にした「アピオスクール」を立ち上げ、プロデューサーなどを育成します。

事例紹介 「見つける・みがく・光を当てる」芸術展プロジェクト

2018年、15回目でファイナルを迎えたみの〜れ芸術展。これにかわる新企画を考えようと、2019年に立ち上がったのが「芸術企画検討会議」。芸術展の実行委員有志に新たなメンバーを加え、「美術企画」のコンセプトを守りつつ、「継続性・発展性」「小美玉・みの〜れでの実施に価値がある」「住民参加型」「ターゲットは親子連れ」といった企画で大切にしたいポイントを固めていきました。企画名には「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」のキーワードを参考に、ライトアップ（見せ方）だけでなく、小美玉のいいところ、自慢したいところに「光を当てる」という思いが込められています。第1回は最先端の「プロジェクションマッピング」の技術を用いて、小美玉の「たまご」に光を当てること。みの〜れの新しい芸術展がスタートします。



活動計画

みの〜れ

みの〜れで培ったノウハウを市内全体に展開する

みの〜れで培ったノウハウをホールの中だけでなく、遊休施設を利活用して企画をすることで、新たな切り口の文化活動を実践します。

活動計画

コスモス

地域資源を活かす全国の先進事例を学び実践する機会をつくる

情報発信の方法や事業が固定化しないように、勉強会等を開催し、地域資源等を活かした全国の事業や運営方法等の先進事例を知り、学び、実践する機会をつくります。